

貿易ゲーム(経営能力向上研修)

平成18年1月
農業普及部 新妻

1, 貿易ゲーム(trading game)について

5つのグループに分かれて、それぞれ国をつくります。国にはそれぞれ違う内容の材料と道具が渡されます。それらを使って○や△、□などの生産物を作り、世界銀行に売ってお金を儲けます。一番多くお金を儲けたチームが優勝です。

2, ねらい

ゲームを通じて、経営の基礎・全体を把握するとともに、経営者に必要なスキルを気づかせます。

また、日頃意識することの無い、交渉力・営業力の重要性を認識させることで、新たな自分の発見を促します。

ゲーム後の振り返りを通じて、自分の強み・弱みを知り、固定概念からの脱却を図ります。

3, ルール

- ①グループは「国家」であり、みなさんは「国民」である。
- ②このゲームの目的は「できるだけお金をたくさん稼ぐこと」である。
- ③指定された加工品を紙で作ると、品質チェックをした上で、世界銀行が買ってくれる。
- ④加工品を作るときは、与えられた道具以外は利用できない。
- ⑤他の国と協力したり、材料や道具を交換するなどの交渉を行ったりしても良い。
- ⑥「国連」は争いごとやもめごとがあると仲裁に入る。
- ⑦「国連」はゲームの途中でルールに変更を加えることができる。その際は注意して聞くこと。

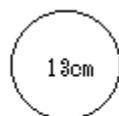
4, 実施条件

- 1)人数 15~25名程度
- 2)時間 2時間~3時間
- 3)場所 101会議室?
- 4)その他 国連1名、世界銀行2名

5. 資源配分例

A	アメリカ	4人	はさみ(3)、定規(3)、コンパス(1)、三角定規(1)、分度器(1)、紙(4)、お札(10)、鉛筆(2)
B	日本	3人	はさみ(2)、定規(2)、コンパス(2)、三角定規(1)、分度器(1)、お札(10)、鉛筆(2)
C	イギリス	2人	はさみ(1)、定規(1)、コンパス(1)、分度器(1)、紙(1)、お札(8)、鉛筆(1)
D	中国	5人	紙(10)、定規(1)、お札(6)
D	インド	6人	紙(10)、分度器(1)、お札(4)
D	フィリピン	2人	紙(4)、定規(1)、お札(3)
C	ラオス	2人	紙(4)、お札(3)、鉛筆(1)

6. 加工品見本図例



¥5,000



¥2,000



¥3,000



¥1,500



¥2,000+

7. 研修手順

- (1) 小ゲーム
- (2) グループ分け、ルール説明
- (3) ゲーム
- (4) 振返り
- (5) アンケート記入、終了

※研修手順の詳細説明

<グループ分け>

3人～4人のグループを作る。

あらかじめ配分した資源の入った袋をグループの大統領に手渡す。

<ゲームの目的とルールの説明>

例「グループは国家で、みなさんはその国民です。このゲームの目的はできるだけくさんの「お金を稼ぐこと」です。お金を稼ぐためには、製品見本図にあるように、渡された袋の中に入っている紙を切りとって、製品を作り、世界銀行に持っていく必要があります。世界銀行は製品の品質をチェックした上でお金を支払ってくれます。他のグループと協力したり交渉することは自由です(ただし暴力だけは許されません)。グループ内部でも役割分担をするなどして、効率よくお金を稼いでください。」

「ぼくの立場は国連です。争い事やもめごとがあると仲裁に入ります。また、ゲームの途中でルールに変更を加えることもありますから、国連の言うことは注意して聞いてください。」

<ゲーム中>

国連はゲームの展開に変化をつけるために新しい要因を導入することができる。

例

- A 世界銀行の審査情報
- B シールの情報
- E 黄色の紙
- D 黄色のシール、黄色の紙
- C 黄色のシール、カッター

他にも、以下のような外的要因の変化を作り、経営者としての順応力を高めるのも良い。

- ① 市場価値の変動・・・生産量の多い製品の値段を下げ、逆に生産量の少ない製品は値段をあげる。
- ② 新資源の発見・・・価値の高い新資源(逆に価値の低い資源でもよい)が発見されたことにする。
- ③ シール・・・1つのグループにシールを与え、別のグループにシールの意味を書いた情報を伝える(シールを貼った製品は商品価値が5倍になる)。
- ④ 援助・・・国連の援助(道具、お金)を受けることができる。
- ⑤ 新しい技術の開発・・・カッターなどのより効率的な技術を開発したことにする。

また、国連が導入するのではなく、自発的に各国の交渉などの結果以下のような展開が起こり得る。

- ① 貿易組合・同盟・提携・・・2以上のグループが技術や資源・労働力を相互に出し合うような形で協力する貿易組合を成立させることがある。完全協力型、技術や材料・労働力を供給しあう型などがある。
- ② カルテル・・・資源を持っているグループは、資源を流出させないように結束を強めて値段を吊り上げる(生産者カルテル)。逆に、技術を外に流出させないように先進国同士の同盟を結ぶこともある。
- ③ 貿易制限・・・資源を持っている国は、貿易を制限することによってよりよい条件で取引できるように交渉する。
- ④ レンタル・・・道具を売るのではなく、時間単位でレンタルする代わりに使用料を取る。

<ゲーム終了・片付け・休憩>

産業廃棄物を処理。休憩をとる。

<結果発表>

<振り返り>

1. 感想、勝因・敗因
2. 現実の貿易や経営との共通点・相違点
3. どういうルールを設定すればお互いが発展できるだろうか

<アンケート>

ゲームの評価 (1)満足度、(2)気づき、(3)国連、世界銀行
感じたこと、考えたこと 等

<終了、解散>

小ゲームについて

参加者の緊張をほぐし、お互いに知り合うちょっとしたゲームをします。

例「こんな人いませんか？」

準備するもの 課題プリント「こんな人いませんか？」 一人一枚、筆記用具

すすめ方

1. 参加者全員に、課題プリント「こんな人いませんか？」を一人に一枚ずつ配る
2. 全員が立って自由に動ける場所で自由に相手を見つけ、一人に一回質問し、「()さん」のところには相手の名前を、「()」には、相手の答えを書く
3. 一定時間の後、全員に着席してもらい、一番多く答えをもらった人ひとりに前へ出てもらう
4. 答えてもらった質問を読み上げて、順に相手を紹介する。呼ばれた人は、みんなに見えるように起立する。

例、(渡辺)さんは、(オーストラリア)へ海外旅行したことがあります。

質問は何番からでもできます。(別に1番から順にする必要はなく、相手が答えられそうな質問を選ぶことができる)

.....

課題プリント「こんな人いませんか？」

- ・()さんは、()へ海外旅行したことがあります。
- ・()さんは、日本が輸入している農産物の名前を5つ言えます。
()()()()()
- ・()さんは、()語を話せます。()語を聞き取れます。
- ・()さんは、日本人以外のアジア人の名前を3つ言えます。
()() ()
- ・()さんは、農業の新聞や雑誌の名前を3つ言えます。
()() ()
- ・()さんは、女性から手紙をもらったことがあります。
人名 ()から。
- ・()さんは、中東にある国の名前を3つ言えます。
()() ()
- ・()さんは、家に外国人を招いたことがあります。
[ホームステイでも、もちろんOK]。
国名()
- ・()さんは、今日は日本産以外の物を食べました。
()産のどんな食べ物()
- ・()さんは、東南アジアの国の名前を3つ言えます。
()() ()
- ・()さんは、海外に行ったことのある人と話したことがあります。
国名()() ()
- ・()さんは、家にある外国製の品物の名前を3つ言えます。
()() ()

- ・()さんは、肥料メーカーの名前を3つ言えます。
() () ()
- ・()さんは、今日は日本でしか作れない物を食べました。
どんな食べ物()
- ・()さんは、海外についての報道をテレビやラジオで見聞きました。
国名() () ()
- ・()さんは、アメリカドル以外の外国通貨の名前を3つ知っています。
() () ()
- ・()さんは、日本語と英語を除いて、アジアで話されている言葉を4つ言えます。
() () () ()
- ・()さんは、外車の名前を3つ言えます。
() () ()
- ・()さんは、南米にある国の名前を3つ言えます。
() () ()
- ・()さんは、外国の作家の名前を3人言えます。
() () ()
- ・()さんは、外国製の衣服を持っていますか。
国名 ()製
- ・()さんは、英語以外の外国語を話せます。
()語
- ・()さんは、エスニック料理を食べたことがあります。
国名 ()料理
- ・()さんは、アフリカにある国の名前を4つ言えます。
() () () ()